

別紙3(第7条関係)

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和5年度第1回宮古市市民交流センター運営協議会を、次のとおり開催しました。

令和5年8月30日

宮古市市民交流センター運営協議会

1 開催日時

令和5年7月21日(金)午後3時00分

2 開催場所

宮古市市民交流センター 1階 会議室1・2

3 議題

- (1) 令和4年度宮古市市民交流センターの利用実績について
- (2) 令和5年度宮古市市民交流センターの事業計画について
- (3) その他

4 会議の概要

議題について説明し、質疑応答を行った。詳細は、別紙議事録のとおり。

5 問い合わせ先

宮古市市民交流センター運営協議会

事務局 宮古市市民交流センター（宮古市市民生活部 生活課内）

電 話 0193-63-4166

令和5年度 第1回 宮古市市民交流センター運営協議会 議事録

1. 日 時 令和5年7月 21 日(金)午後3時00分から午後4時00分まで
2. 場 所 宮古市市民交流センター 1階 会議室1・2
3. 出席委員 11名
昇高茂樹、宮本淳一郎、澤口強、阿部亮子、坂下勝一、坂本智子、
小野寺靖、盛合敏子、谷地孝徳、八木恵理子、伊藤エミ子
(名簿順、敬称略)
4. 事務局等出席者 4名
市民生活部 部長 若江 清隆
生活課 課長 川原 栄司
市民交流センター 所長 大須賀 健
市民交流センター 主事 松下 睦美
5. 傍 聴 者 なし
6. 議 題 1 令和4年度宮古市市民交流センターの利用実績について
2 令和5年度宮古市市民交流センターの事業計画について
3 その他

7. 議事録(要旨)

1 令和4年度宮古市市民交流センターの利用実績について

質疑(委員)

会議室3の利用について。昨年、ワクチン接種者の人数を利用人数として含めない方がいいと指摘してきた。今回の資料には、ワクチン接種者が行政利用の人数としてカウントされているのか。「昨年度と比べて行政利用が減り、公民館・市民の利用が増えた」との説明があったが、これはワクチン接種者の人数が単に少なくなった、ということか。

回答(事務局)

会議室3は、健康課により、新型コロナウイルスワクチン接種のための資機材を収納していたことから、利用人数は0である。

(訂正)

会議室3の利用人数は0であるが、会議室1の利用者数にワクチン接種者が含まれている。委員発言のとおりワクチン接種者の人数が少なくなったことは要因として挙げられる。利用人数集計方法については、委員の指摘を踏まえ検討したい。

質疑(委員)

公民館利用者と市民交流センター利用者の住み分けを今後どうしていくのか。公民館利用として6か月先までの予約を先にとった場合、市民交流センターとして利用する人が後から申請しても公民館優先ということになるのか。料金や駐車場料金といった面でもそうだが、利用者全員が公平に使える仕組みづくりをすべではないか。

回答(事務局)

市民交流センター利用者と公民館利用者との間で、これまで特に大きな問題、トラブルは発生していない。予約方法が少し異なるため、公民館利用者に合わせ是正すべく内部協議中である。

2 令和5年度宮古市市民交流センターの事業計画について

質疑(委員)

10月の市民交流まつりの催事案募集の案内が届いたが、10/21開催の公民館まつりの方でもおたよりが届いており、どう答えたらいいのか戸惑っている。10～12月までは文化的な行事が続いていく。同じような取り組みを分散して行うのはいかがなものだろうか。今回も、7/23の市民交流まつりが公民館まつりと日程がかぶっている。

回答(事務局)

7/23の市民交流まつりと公民館舞台部門発表会(市民文化会館)が同日となったことについては、たまたまであり意図的なものではない。10/14予定の市民交流まつりにあたって、公民館利用団体の方々のアイデアを頂戴したいと思い、文書を発送したものであり、10/21予定の公民館まつりとは別である。

質疑(委員)

市民交流まつりといったイベントの回数は、年に何回などと決まっているのか。

回答(事務局)

予算等の中で、イベントを企画し、多くの方々が来場されることを目標に取り組んでいるものであり、年に何回と決まっているものではない。

3 その他

質疑(委員)

オンライン予約システムの導入について。システムに対応できない人もいると思うが、今後予約受付はオンラインのみになるのか。利用者の方への周知を徹底してもらいたい。

課が違うので把握していない部分もあると思うが、文化会館などほかの市の施設も、今後同じようなシステムでオンライン予約ができるようになるのか。

回答(事務局)

オンラインのみとなるということではなく、従来の方法に加えその手段(方法)が増えるということ。順次導入施設は拡大されていくと思われるが、具体的な内容については、現在承知していない。

回答(事務局)

今回、市民交流センターに先行して導入しようとするもの。

質疑(委員)

公民館登録団体として、現在紙の申請書を提出して利用予約をしている。今度、オンライン申請のやり方などについての説明会など、利用者への周知の予定はあるのか。

回答(事務局)

システム操作順に従い、必要事項を入力していけば予約完了となり、難しい操作や入力はないと思われるが、利用者への周知等については対応してまいりたい。

質疑(委員)

運営協議会委員としての役割は何なのか。去年の運営協議会でも様々な意見を出したが、「ここは意思決定の場ではない」ということで反映されなかった。委員の方もそれぞれ忙しい中で時間を出して出席しているが、このような状態では「いる意味が無いのでは」、と思う。市としては、委員にどのような意見を求めているのか。

回答(事務局)

今年秋には供用が始まって6年目に入るが、供用開始後間もなくしてコロナが始まり、コロナ前のような運営はできなかった。こうすればもっとよくなる等、市民目線でのアイデアや、こういう状況がある、ということ把握したい。特定の意見だけを聞きたいというわけではない。すぐに改善できないこともあるが、幅広く意見を求めたい。

意見(委員)

電灯について。見ていると、日曜日の夜など、利用者が一人二人しかいないのに電灯が煌々とついている。節電に取り組まなければいけない情勢の中で、これはどうなのか。人数が少ないときは早めに閉館するなど、しかるべき対応を取るべきではないか。事務室では貸室利用者に使用終了後に人数を聞いており、そのデータもあるはずなので、夜間の利用人数のデータを分析してみてもどうか。

回答(事務局)

以前、人がいないため消灯したところ、利用者から苦情を受けたことがあった。消されると困る、という利用者の声もあるので、消灯については現場でその都度判断して対応していきたい。

意見(委員)

電灯の消灯については、その時々職員の対応ではなく、利用者が分かるように判断基準・ルールを明確に設けるべきだと考える。

回答(事務局)

意見として参考にさせていただく。

意見(委員)

以前市外の人に、宮古市の観光名所は浄土ヶ浜の他にどこか無いかと聞かれたとき、防災プラザを案内しようと思ったが、ワクチン接種のために使えない状況だったことがあった。宮古市民だけではなくほかの方も利用するので、もっと展示を充実させてはどうか。個人的には、「復興・防災プラザ」とするべきだと思う。黒森神楽などの文化や、宮古市の特産品を紹介するコーナーとしていくべきではないかと考える。

意見(委員)

宮古市の特産品や土産物については、産業支援センター前で既に展示している。

回答(事務局)

防災プラザの充実に関しては真摯に取り組んでいる。限られた資源のもと展示しているものであり、評価が難しい。いただいた提言を踏まえ取り組んでまいりたい。

意見(委員)

昨年度の運営協議会で委員だけではなく事務局側の名簿もつけてほしいと要望したが、反映されていない。次回以降つけるようにしてほしい。

また、今回のようにせっかく委員が集まる機会があるのだから、現在市役所前駐車場のバーの工事をしていることなど、他の課の事柄だとしても積極的に周知すべきではないか。この委員を通して、他の利用者に情報が伝わることもある。

回答(事務局)

積極的な情報発信に努めます。

質疑(委員)

新型コロナウイルス感染症への対応について、今年度から徐々に制限を緩和しているとのことだが、具体的にどう変わったのか。

回答(事務局)

5類移行を受け、各貸室の利用定員に対する制限を緩和・撤廃したり、机やイス、利用機材等の消毒も希望者のみとするなどしている。

質疑(委員)

委員として初めて出席するため質問するが、公民館と市民交流センターはどのような違いがあるのか。利用について、どこがどう違うのか。

回答(事務局)

建物は同一であり区分はない。公民館利用団体として登録のある団体からの申請により利用する場合は公民館として、その他の一般利用が交流センター利用となる。

8.その他

駐車券の無料処理をさせていただくので、必要な方はお声がけください。

以上、閉会。